

# Happy-Hamakan-News (HHN)

浜医看学発 第4巻 第1号

平成29年6月号

浜田医療センター附属看護学校

[http://www](http://www.hamakan-nh.jp/)

学校長挨拶・・・1P

最近の学校の動き・新任教員挨拶・・・2～3P

就職説明会・・・4P

入学式・新入生歓迎会・・・5P～6P

ナイチンゲール生誕祭・清掃活動・・・7P～8P

スポーツ大会・・・9P～10P



2年生（64期生） 36名

今年も一年がんばります！！！！

独立行政法人国立病院機構  
浜田医療センター附属看護学校  
〒697-8512 島根県浜田市浅井町 777-12  
TEL0855-28-7788  
mail : kanri-t@hamakan.nh.jp  
<http://www.hamakan-nh.jp/>

発行責任者 石黒眞吾  
編集責任者 高下智香子  
編集 田儀千代美、隈部直子、小田川良子、  
畑中美保、崎本美子、山岡富美香、  
福嶋洋子、三家本八千代、  
岩成美樹、松野由香、金山和正



## ～第65期生入学式によせて～

### 浜田医療センター附属看護学校 学校長 石黒眞吾



第六十五期生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

浜田医療センター附属看護学校は、生命尊重の理念に基づいて、看護職として人間に対する洞察力を養い、豊かな人間性を涵養する教育に、教職員と医療センターが一体となり、懸命に取り組んできました。昭和二十八年に国立浜田病院附属高等看護学院として黒川町に開設され、これまで二千八十名の卒業生を送りだしてきた山陰でも伝統ある看護学校です。卒業生の多くが島根県はもとより、全国で看護師として活躍されており、皆さんにとっては心強い存在となっています。

皆さんがなろうとする看護師は誇りある素晴らしい職業です。患った方のために役に立ちたいとの思いがあり、沢山ある人生の選択肢のなかから、社会的にも責任が重く、厳しい看護の道に挑戦しようとして決意され、スタート地点に立たれました。

超高齢化社会を迎えた今、医療介護を取り巻く環境は目まぐるしく変化してきておりますが、病院はもとより、訪問看護、介護など医療福祉の幅広い分野において、ますます看護職は必要とされています。厚労省の唱える地域包括システム構築に向け、今後は病院での医療だけでなく、患者の生活を支える視点をもった役割が期待されています。

皆さんは、明日からは、看護に必要な知識や技術を学んでいくこととなります。今まで聞いたこともない言葉や専門用語などに戸惑うこともたくさんあると思います。しかし、専門職としての知識と技術を習得してこそ、資格が与えられるのです。決して安易な三年間ではありません。どうか頑張ってください。そして、看護師として欠かせないことは、常に患者の立場に立って寄り添うという心を養ってください。浜田医療センターは皆さんの努力に対して全力で応援いたします。

一方で、専門性の高い看護の知識・技術が評価され、求められるようになりました。その影響もあってか、今は四年制大学への進学希望が多くなっておりますが、浜田医療センターは看護学生の教育のみならず、卒後においても看護師のキャリアアップに力を注いでいます。卒業時に進学を目指す方を支援する体制を整え、また、卒後教育としての看護研修を始め、専門看護師、助産師、認定看護師、特定看護師といった資格を取ることのできる体制を持っております。

この三年間の学校生活は講義と実習に追われ、時にはつらい思いをされることもあるかもしれませんが、これは誰も避けて通ることはできません。その時は家族や友人だけでなく、教官に相談してください。必ず力になってくれます。しかし、感激することも、嬉しいこともいっぱいあります。青春の大切な時でもあります。今でしかできないことがたくさんあります。SNSでのやり取りばかりに頼るのではなく、直接友人との語らい、読書に親しみ、スポーツを楽しみ、旅行をしたり、あるいはボランティア活動への参加であったりとか、それらを通して自身で考え判断する力を養ってください。

最後に、看護師として備えるべき資質について、「看護」を職業として確立させたかのナイチンゲールはこう述べています。「どのような訓練を受けたとしても、感じるごとと、自分でものを考えること、この二つが会得できなければ訓練自体が無用になってしまう」というのです。つまり、看護師は患者をまづもって観察し、その事実を自分で分析して判断することが大切であると説いています。決して教科書の知識だけを習得するだけではありません。何を観察し、どのように考えるかを学生生活で学んでください。皆さんの学校生活が、充実したものになることを願っています。



# 平成29年

## ～新年度のスタートをきって～



教育主事 高下 智香子

平成29年、新年度がスタートしました。4月7日には第65期生の入学式が行われ、男子学生9名を含む49名が看護師を目指して新生活のスタートを切りました。例年に比べ男子学生の割合が高く全体の2割弱を占めました。グループダイナミックスを活かして大きく成長してほしいと願っています。

さて、当校では「教育水準の維持・向上」を図る目的で、年度末に全学年の学生を対象に16項目からなる「学生によるカリキュラム満足度調査」(表1)を実施しております。全体の平均点は4点満点中3.2点でした。平均点よりも高い得点のものを「赤」、低いものを「青」で示しています。その結果と今後の課題についてご報告させていただきます。

「8. 専門的な技術が身につく」「7. 専門的な知識が身につく」については高い評価を得ていますが、「6. わかりやすい授業が多い」については項目内で最も低い評価となりました。これは学年が下がるに従って低くなる傾向がみられました。3年間の半分の講義単位を1年次に履修するための結果だと考えます。1年生の担任・副担任は5月のGW明けから、学生の個人面接の時間をつくり、学習の仕方について相談を受けています。看護専門学校では3年間で看護師になるための国家試験受験資格を得るための単位を取得するわけですから4年制の大学に比べるとハードスケジュールになる事は否めません。自己学習の時間をとって復習する学習姿勢が必要となってきます。学習方法については教員が個別でアドバイスしていくとともに、必要性があれば教科外の時間を使って復習できるような時間を計画していきたいと考えています。「14. カリキュラムに対して評価する機会が与えられている」という項目については高い評価結果が出ていますが、当校では各授業科目が終了するごとに学生によるカリキュラム評価を行っています。分かりやすい授業になるような依頼も引き続き行ってきたいと思います。

学生のみなさんには、わからないこと、できないことをそのままにしないで理解し、できるようにする努力をすること、受け身ではなく、自ら積極的に質問する姿勢を身につけてほしいと思います。

2年後期から3年次にかけて臨地実習が始まります。臨地実習は1・2年次に机上で勉強したことを体験によって、確かな知識にする効果的な学習形態だと考えます。「5. 実習の教育内容に満足している」については比較的高い評価を頂いています。今年度も学生の臨地実習が効果的に実施できるように、教員は臨地実習指導者と連携し学習環境を整えていきたいと思っています。

表1 平成28年度 学生のカリキュラムに関する満足度

項目	
1 教育方針は明確に示されている。	3.2
2 基礎分野の教育内容に満足している。	3.2
3 専門基礎分野の教育内容に満足している。	3.2
4 専門分野の教育内容に満足している。	3.2
5 実習の教育内容に満足している。	3.3
6 わかりやすい授業が多い。	2.8
7 専門的な知識が身につく。	3.3
8 専門的な技術が身につく。	3.4
9 シラバスと実際の内容は概ね一致している。	3.3
10 学習するための教材及び図書は十分である。	3.0
11 個別指導・進路相談など学生をサポートする体制が整っている。	3.1
12 健康管理体制に満足している。	3.3
13 課外活動に満足している。	3.2
14 カリキュラムに対して評価する機会が与えられている。	3.3
15 学校職員は、学生の関心事に耳を傾け、近づきやすい存在である。	3.2
16 全体的にみて、本校で学んだことに満足している。	3.2
平均	3.2

4件法(4:大いにそう思う、3:そう思う、2:ややそう思う、1:全くそう思わない)

## ～新任教員挨拶～

「10. 学習するための教材及び図書は十分である」について、昨年は課題が残る結果となりました。図書室については昨年度、古いものを大幅に廃棄し書架スペースを整理したところです。今年度は特に実習で参考となる図書、国家試験対策に活用できる図書を充実させてほしいという要望を反映し、購入に向けて計画しているところです。紛失図書の問題もあることから、図書室の利用について管理を徹底したいと考えています。学生の皆様にはルールを守って、だれもが気持ちよく図書室を利用できるよう、ご協力をお願いしたいと思います。

「11. 個別指導・進路相談など学生をサポートする体制が整っている」については、特に昨年の卒業生について評価が低かった項目です。卒業生については結果的に、全員が就職内定、希望校に進学することができましたが、教員の異動等が影響したと考えます。今年度は昨年に比べ教員数が1名増となり、新たな指導体制で取り組んで行きたいと思っています。

進路については今年3月に行われた中国四国グループ就職説明会に2年生（新3年生）とともに、1年生（新2年生）も参加の機会を設定しました。（※参加の記事は4頁に掲載）新3年生については、現在、担任・副担任2名が個人面接を行っており、進路相談など個別で相談できる機会をつくっています。新2年生については5月26日に岡山で開催された「中国四国グループ内看護学生フォーラム」に参加しました。ここでは、国立病院機構の提供する医療・看護についての理解を深めることを目的として、国立病院機構中国四国グループ22施設の紹介がありました。他の施設のことをより多く知る機会になりますので、幅広い情報の中から自分にあった進路を決定する機会につながればと考えています。

昨年度の結果をもとに、学校運営について良いところは継続し、見えてきた課題については改善に向けて取り組んでいこうと考えております。本校の学生が充実した学校生活を送れるよう、職員一同努力していききたいと思いますので、今年度も引き続き学校運営にご協力とご理解をよろしくお願い申し上げます。



3年生副担任 福嶋 洋子

今年度4月1日付で、岩国医療センター附属岩国看護学校から異動して参りました福嶋洋子（ふくしま ようこ）と申します。どうぞよろしくお願いたします。私は、臨床経験は呉でしたが、その後、愛媛と岩国の看護学校を経て、このたび浜田医療センター附属看護学校に赴任となりました。浜田は初めてですが、伝統のある学校で顔なじみの先生方も多く、温かい雰囲気風の風土のなかで看護教育に携われることを嬉しく思っています。また、前任校は80人定員でしたが、40人定員の当校では学生個々をしっかりと把握し、時間をかけて実習指導や演習等ができることを楽しみにしています。

今年度は3年生を担当させていただいております。3年生のクラス目標でもありますが、看護師国家試験全員合格を目指し、学生の皆さんと共に頑張っていきたいと考えています。3年次は臨地実習が授業時間の多くを占めますが、卒業生の多い浜田医療センターでの実習の学びが国家試験の学習に繋がるよう、計画的に学生を支援していきたいと思っています。

一日も早く浜田の看護学校に慣れ、学生個々に応じた支援ができればと思っておりますので、今後ともご協力とご支援をよろしくお願いいたします。

## ～就職説明会(中四国グループ主催)～

平成 29 年 3 月 10 日、当校体育館において中四国グループ 9 つの医療センター「浜田・松江・米子・岡山・呉・広島西・岩国・関門・山口宇部」が来校し、就職説明会が行われました。1・2 年生（現在の 2・3 年生）73 名が参加し、自分が目指す看護や、進路について考える機会になりました。

就職説明会では、中国地方から 9 つの医療センター系列の病院に来て頂き、病院や病棟の特徴、実際に働いておられる看護師の方の話を聞きました。私は、現在松江医療センターへの就職を考えています。松江医療センターは呼吸器や神経難病、重症心身障害児・者を主としている病院です。そのため、私が興味のある重症心身障害者の病棟があることや、地元での就職を考えた時に松江医療センターが当てはまると思いました。しかし、今回の就職説明会を通して、医療センター間での異動ができることを知り、松江にずっといるのではなく、他の病院で経験を積むことも大切になるのではないかと感じました。今回の就職説明会で聞いたことを参考に、自分に合った就職場所を決めていきたいと思いました。



3 年生 神原明希

今回、中国地方の中のいくつかの病院に来ていただいて、それぞれのブースで各病院の話を聞くことができました。実際に働いている看護師さんの話を聞くことで、その病院の特徴や看護師さんの雰囲気、仕事状況など病院の様子を知ることができ、有意義な時間になりました。また、パンフレットには書いてないことや疑問に思ったことを質問し丁寧に答えていただけたことで、よりその病院のことを知り、自分の進路について深く考えることもできました。3 年生では就職先を決めないといけないので、今回の説明会も参考にして決めていきたいと思いました。説明会で話を聞くことができ、とても良かったです。



3 年生 川上夏穂



2 年生の 5 月頃に岡山で国立病院機構の学生フォーラムが開催され、そこで中四国グループ内の看護学校が集まり病院紹介を受けましたが、今回は当校で行われ本校の看護学生だけ、説明を受けました。少人数でそれぞれ、他のブースをゆっくりまわることができ、各病院に勤めている方々へ質問がしやすい環境だったと感じました。自分が将来勤めたい病棟、興味のあることは何かを、改めて考える機会になりました。私は卒業後浜田医療センターで就職を考えています。そこで様々な経験を通し、医療・看護を幅広く学びたいです。



3 年生 高橋寧々



## 65期生 入学から2ヶ月が経過して

### ～入学後の今～



1年生 木村 愛実

浜田医療センター附属看護学校に入学して2ヶ月が過ぎました。少しずつ勉強も専門的になり、課題もあり大変ですが友達も増え49人のクラスメイトと一緒に日々充実した生活を送れています。

4月7日の入学式で誓いの言葉の中でこのような言葉を言いました。「がんばれとは“頑な”に“張る”と書きますが私は“顔”が“晴れる”と書いて顔晴ると考え、晴れやかな顔、笑顔で一生懸命取り組みたいと思っています」。この言葉は高校での部活の顧問の先生から教わった言葉です。その先生は生徒のためにどんな言葉で伝えれば響くのか、どんなことをしてあげれば生徒は理解してくれるのか、といつも生徒のことを考えて指導をしておられました。私はその姿を見て、指導者と看護師では少し違うかもしれないけどこんな看護師になりたいと思いました。

患者さんにどのような声掛けをするのか、どんなふうに接すれば良いか、どうやったら気持ちよく日々の生活を送れるのか、生徒一人一人違うように患者さんも一人一人違います。その方に合った治療・ケアをし、豊富な知識・高い技術で看護を出来るようにこれからの三年間を必死に勉強し、笑顔で一生懸命努力したいと思います。大きなことを語ることも時には大事ですが、私は日々の小さなことを大切にして、お世話になる方々への感謝の気持ちを忘れずに精一杯顔晴りたいと思います。



65期生 入学式



1年生 太田 純香

私たち 65 期生は女子 40 人、男子 9 人の計 49 人の大人数で、最初は緊張気味でしたが、だんだん打ち解けてきて、毎日うるさいくらい賑やかで、楽しく過ごしています。最初は分からないことが沢山あり、90 分という長い講義に慣れるのも大変でした。講義の進むスピードも速く、専門用語や日々新しい講義で新しい先生と出会い、講義の内容についていくことも、学校生活に慣れることもとても大変でしたが、今では楽しく過ごしています。4 月 28 日には新入生歓迎会があり、ジェスチャーゲームや臓器ビンゴを通して先輩方やあまり話したことがなかった同級生とも話すことができ、とてもいい時間を過ごすことができました。私たちのクラス目標は「**Change Before You Have To** ～変革せよ。変革を迫られる前に～」になりました。このクラス目標はみんなで意見を出し合って、これから看護師として専門的なことを学ぶと同時に医療現場で自分の言動に責任を持って行動することが大切だと思い、決めました。また、普段の生活や実習で、何をすべきか、気づけるように頑張りたいと思います。私たち 65 期生をよろしくお願ひします。



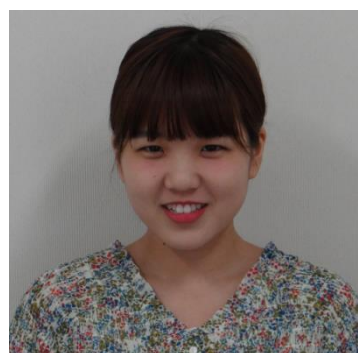
### 新入生歓迎会



## ～ナイチンゲール生誕祭 2017～

平成 29 年 5 月 1 日 ナイチンゲール生誕祭がおこなわれました。患者の生活環境を清潔に保つことによって患者の回復過程の促進につながることを実践し証明した、ナイチンゲールの精神を受け継ぎ、毎年 5 月に学生自治会が中心となって実施しています。

今年は、午前は当校の倫理学の講師である三浦麗子先生に「学ぶオトナは面白いー看護を目指すアナタへ」というテーマで講演をしていただきました。看護師を目指し学んでいる後輩に向けてメッセージを頂きました。また、午後からは浜田医療センターをはじめとする清掃活動や地元の老人福祉施設の訪問を行いました。



2 年生 高橋 明里

午前中の三浦麗子先生の講演「学ぶオトナは面白い」で特に印象に残っていることは、「看護師の一言で患者は救われる」ということです。逆に言うと、何気なく言った一言が患者に影響することなので、いい意味でも悪い意味でも自分の言葉に責任をも持っていけないといけないことを考えさせられました。

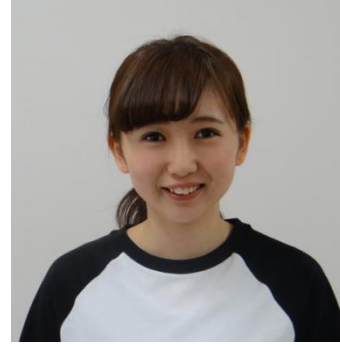
看護学生として、現在は患者に看護技術を提供することは限られたことしかできませんが、コミュニケーションを通して患者と関わっていくうえで、不安を軽減させたり、励ましたりすることはできると思うので少しでも患者のためになることができればいいと思いました。

午後の掃除の時間では、普段学生が行わない院内や、公園などもさせてもらいました。

環境を整えることで患者さんの治癒力を高めることができるし、自分たちも気持ちが晴れやかになりました。年に一度のナイチンゲール生誕祭の日に限らず、毎日の掃除の時間も大切にしていこうという気持ちになりました。







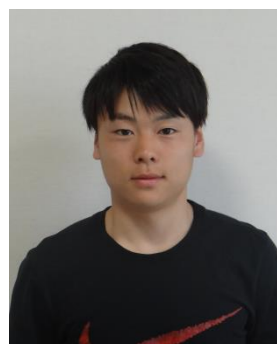
2年生 田邨 みなみ

ナイチンゲール生誕祭を終えて、準備期間中は忙しく大変なこともありましたが、それ以上に多くのことを学べた1日だったと感じています。私は三浦先生の、特別講演での“社会人基礎力”の話がとても印象に残りました。社会人基礎力とは、前に踏み出す力・考え抜く力・チームで働く力の大きく分けて3つで構成されている力のことで、実際、今回のナイチンゲール生誕祭の実行委員として動くにあたって忙しく大変だと感じたのはこの力が私にまだ十分に備わっていなかったからなのだろうと思います。私は、自分は社会人ではありませんが、学生でいる間からこの社会人基礎力を養うチャンスはいくらでもあるのだと実行委員をしていて気づくことができました。今回のナイチンゲール生誕祭で講演を聴き、清掃活動をすることで、私だけでなく学生皆が多くのことを考え、感じたと思います。それらを自分の中だけで留めずに互いに共有し、自分たちが成長していけるようさらに良い学びへと繋げていきたいです。



### 清掃活動

## ～スポーツ大会 2017～



2年生

森脇 琢哉

前森 陽二郎

5月2日にスポーツ大会を開催しました。目的は、クラス、学年、教員間の親睦を深め、スポーツを通してチームワークの大切さを学び、今後の学校生活へと役立てる。と掲げ当日に臨みました。

スポーツ大会当日の午前、球技（バレー、バスケットボール）で学年対抗を行いました。各学年チームプレーを意識し協力し合うことで、学年の仲がより深まったと思います。又、日頃は先輩、後輩を意識していますが、スポーツ大会では垣根を越えて、先輩に遠慮することなく、熱い戦いが繰り広げられました。学年間の親睦も深まったと感じました。そして、午後からは学年、教員混合の6チームに分かれ大縄跳びを行いました。他のチームより多くの数飛ぶ為に作戦を練り、息を合わせて大縄跳びを飛びました。作戦を考える、息を合わせる事を体験することで、より学生同士が親密になれたように思いました。スポーツ大会の締めである学年対抗リレーでは、学年の総力が試される競技で、クラス代表の学生が一生懸命たすきを繋ごうとする姿や声を大にして応援する姿、同級生が転倒しその同級生を助ける姿があり、各々学年の団結力が表れていました。

最後に、このスポーツ大会を通して、学校全体の仲が深まったと実感しました。この繋がりを大切に、これから控えている学校祭等の行事をより良い内容にして、学校全体で盛り上げて行きたいと思います。今回の体験を学校生活に活かし日々励んで行きたいと思います。







バスケットボール



バレーボール



大縄跳び



学年対抗別リレー

## 今後の予定

7月 5日 (水)	1年生	集団宿泊研修 (弥栄)
~7日 (金)		
7月21日 (金)		終業【夏休暇8月30日(水)まで】
7月29日 (土)		夏のオープンスクール
		国立病院機構中国四国グループ看護師採用試験
8月31日 (木)		始業
9月 5日 (火)	2年生	基礎看護学実習Ⅱ 開始 【9月21日(木)まで】
9月 8日 (土)	3年生	中国四国地区 国立病院機構・国立療養所 看護研究学会 参加(愛媛)
9月29日 (金)	2年生	看護協会精神看護学術集会 参加(松江)

### 編集 後記

今年は新1年生(65期生)が49名入学されました。例年にない大人数です。入学式の来賓の方々も浜田市市長の久保田章一様、松江医療センター院長の中島健二様、浜田市保健所所長の竹内俊介様と豪華な顔ぶれでした。新一年生はにぎやかなクラスみたいなので、7月にある宿泊研修などで楽しんでもらえたらと思います。その様子を次号で伝えようと思いますので次号もご愛読宜しくお願い致します。

## オープンスクール

平成29年7月29日(土) 13:00~16:00

各種看護技術体験 学生生活について聞いてみよう

(看護学生との交流会) ほか

(小学生5・6年生、中学生については9:00~11:00)



## 平成30年度 入学試験

特別推薦(指定校) 平成29年10月12日(木)

一般推薦・社会人 平成29年11月15日(水)

一般入試 平成30年 1月18日(木)

※平成30年度から社会人入学試験を開始します。



- 山陰本線浜田駅より徒歩3分
- 広島駅から浜田道高速バスで  
約1時間50分
- 山口方面から  
新山口—(山陽本線)—益田—  
(山陰本線)—浜田
- 松江方面から  
松江—(山陰本線)—浜田 特急  
約1時間40分



[お問い合わせ先]

独立行政法人国立病院機構

浜田医療センター附属看護学校

〒697-8512 島根県浜田市浅井町777-12 ☎0855-28-7788

— 資料請求は公式ホームページから —

<http://www.hamakan-nh.jp/>

※その他ご不明な点などありましたら、お気軽にお問い合わせください。

